

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社金子組様マンション	階数	地上14F
建設地	堺市堺区車之町東1丁2番	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	2人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,840時間/年
建物用途	物販店、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2019年6月26日
敷地面積	341㎡	作成者	百合 伸仁
建築面積	203㎡	確認日	
延床面積	2,216㎡	確認者	



ときは  
解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★★★★★

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 42%  
③上記+②以外の 42%  
④上記+ 42%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 建物形状や色彩等に配慮して周辺環境に合致したデザインにしています。		工事中における廃棄物削減、リサイクルについては可能な範囲で配慮します。堺市宅地開発等に関する指導基準に基づき緑化の推進に努めます。堺市景観条例に基づき色彩等に配慮します。
<b>Q1 室内環境</b> 建物全面的にF☆☆☆☆を採用し空気室環境の向上に配慮します。外部に接する建具についてはT-2を計画し遮音対策にも配慮します。	<b>Q2 サービス性能</b> 建物における耐用年数の確保に配慮します。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 環境・周辺への配慮は対応が難しいができる限りの配慮をします。(緑化基準等の遵守)
<b>LR1 エネルギー</b> 省エネ基準を満たし、環境負荷低減をするよう配慮します。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水設備の使用に配慮します。	<b>LR3 敷地外環境</b> 緑地を可能な範囲で行い敷地外への熱的な影響を低減するよう配慮します。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)株式会社金子組様マンション	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区車之町東1丁2番	0.9	B-
	主用途/延床面積	集合住宅 / 2,215.94 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み				
重点項目	評価点	取組み度		
CO <sub>2</sub> 削減	4	● ● ● ● ●		
省エネ対策	4	● ● ● ● ●		
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●		
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●		

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア					
CO <sub>2</sub> 削減	評価項目			スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値			3.5	4
省エネ対策	評価項目			スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコア による評価値	建物全体	1.0	4	
		住居・宿泊部分	3.0		
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値				5.0
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値				2.0
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値				5.0
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値				対象外
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値				3.4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目			スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値			1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値			2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値			3.0	
安全快適な暮らし	評価項目			スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値			3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値			3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値			2.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値			3.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	